

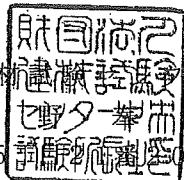


## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成19年2月28日

財団法人建築性能評価研究会  
中央試験所長 勝野タナカ  
埼玉県草加市稻荷5-1-1 試験所



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702-1
試験体 (依頼者 提資料)	<p>1. 接合金物            名称：木造建築用柱仕口金物            商品名：コンパクトコーナー            用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型）            尺寸法：60×27×28mm, 厚さ2.3mm（図-3参照）            材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具            木ねじ：TB-55, 柱側3本, 横架材側2本使用            長さ；57.4mm, ねじ部の長さ；51mm, ねじ部の外径；6.2mm            谷の径；4.0mm, ねじ山のピッチ；3.18mm, ねじ先の形状；とがり先            材質；SWCH22A (JIS G 3507-2), 表面処理；ダクロタイズド処理</p> <p>3. 使用軸組            柱及び横架材：樹種；すぎ, 尺寸；105×105mm</p> <p>4. 試験体数            7体（うち1体は予備試験体）            参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	耐力算定基礎資料：表-2 <b>短期基準引張耐力(Po t) : 6.4 kN</b> 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は、平成12年建設省告示第1460号表三(は)に定める T字型かど金物くぎCN65×10本, 山形プレート金物くぎCN90×8本(必要耐力5.1kN)に該当する
試験期間	平成19年2月16日
担当者	構造グループ 試験監督者 川上修 試験責任者 室星啓和 試験実施者 高橋慶太, 林崎正伸
試験場所	中央試験所